

平成25年度
(第1事業年度)

事業報告

平成25年4月1日から
平成26年3月31日まで

公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会

平成25年度事業報告

I 現 況

1 事 業

定款に掲げる事業は、次のとおりである。

- (1) 団体の行う吟剣詩舞に関する協力および援助
- (2) 吟剣詩舞に関する研究
- (3) 指導者の養成ならびに研究会および講演会等の開催
- (4) 発表会およびコンクールの開催
- (5) 吟剣詩舞功労者の表彰
- (6) 会誌および図書の刊行
- (7) その他目的を達成するために必要な事業

2 役 員

(1) 平成26年3月31日現在の役員

会 長 菅原道雄(雪山)、

副 会 長 山岸明子(吉見芳蘭)、多田 満(正満)、益中 満(鵬山)、

専務理事 矢萩保三

常任理事 広渡英治、杉浦和子(容楓)、宮田義治(実龍)、武田万義(禧洲)、前島征夫(昊龍)、松岡 滋(萌洲)、野中秀偉(秀鳳)、佐々木晃(嶺城)、八代正輝(輝霊)、増田忠和(鵬泉)、

理 事 原 眞人(青柳芳寿朗)、松岡和子(吟琇)、小野久仁子(光翠扇)、横田 博(岳理)、廣重幸雄(光風)、阿部徳司(昭馨)、星野光世(紫虹)、前田嘉弘(霊泉)、志塚 巖(心彰)、井上精一(游洲)、田中建治(岳藤)、西條陽一(典綜)、伊藤征方(晃績)、山路泰弘(泰洲)、佐々木経子(朝鵬)、安倍嘉一(秀風)、石川兼道(春洋)、佐々木貫二(一景)、藤岡孝義(鶴伯)、三田和氣(梅鳳)

(理事35名)

監 事 沼崎 富(星翁)、日置則男(彩峰)、原口 孝(岳孝)

(監事3名)

3 評 議 員

(1) 平成26年3月31日現在の評議員

平形 亨(鴻成)、北川寿文(哲水)、櫻田須賀子

(榊原静慧)、多田稔雄(正稔)、小林 久(北鵬)、
林 久雄(鳳俊)、田村和夫(天聖月)、中山健次(賢風)、
森川祐幸(精修)、富田純造(正親)、土方友一(春城)、
椎原哲子(大雅)、渡辺虎雄(櫻虎)、荒瀬孝之(龍鳳)、
三橋陸雄(吟煌)、横山寿宏(寿城)、畑中悟利(景心)、
田邑喜代子(嘉風)、中尾克久(仁泉)、梶 京子(鳳映)、
芳倉清隆(清峰)、勝部昌雄(吼嶺)、若原將昭(峰洲)、
大橋康身(宗風)、杉山広子(翔鴻)、梅澤正春(昌峰)、
河田千春(藹泉)、神菌弘己(心星)、秀平昌己(克泉)、
阿部歆宗(吟鳳)、足立 勝(育城)、小野忠義(雪琇)、
小山 豊(岳洸)、辻島利隆(鑑靈)、中澤治重(春誠)、
佐藤彰徳(翔風)、中川裕子(義若)、西山 孝(穂敬)、
甕 勝(経風)、山内直之(正風)、松島康夫(南洲)、
川原宣子(霊宗)、徳田良子(寿風)、森山清文(清明)、
小澤武久(田中照風)、北村秀男(容山)、勝矢清平
(藤河賀久清)、縄本欣秀(東嶺)、宮野圭司(鶴誠)、
柴崎澄生(澄山)、鈴木邦彦(慧山)、早淵 肇(鯉將)、
山田則夫(静將)、後藤ひろみ(月戈)、丸山恵子(冽風)、
山口世津子(嶺津)、田尻誠行(向山侑吟)、横山真吾
(精真)、辻 美智子(芳翠)、大西 守(清山)、笠井俊生
(栄俊)、白波瀬正司(緑斎)、平瀬国夫(邦洲)、宮本 守
(浩風)、師岡光芳(祐学)、山本憲一(兼正)、菊川禎恵
(八千穂)、毛塚静子(静精)、古庄法男(吟法)、山下勝昭
(明穂)、赤木隆彦(隆山)、鈴木 治(永山)、浅田愛子
(聖風)、熊本佳党(慧山)、黒田利忠(秀月)、森宗満治
(呀城)、奥脇朝雄(嶽津)、久保田昌代(昌風)、薦田欣吾
(南尚)、中谷一壽(将鳳)、八文字勝利(剛洲)、早淵淳子
(河野鶴聲)、安永利一(江悠)、森川忠義(賀秀心)、
竹内淳雄(岳南)

(評議員 85名)

4 顧 問

平成26年3月31日現在の顧問、相談役及び参与

- イ. 顧 問 49名 (顧問15名、元老34名)
- ロ. 相 談 役 448名
- ハ. 参 与 835名

5 事 務 局

6 事業資金

本振興会の事業資金は、各種事業活動による事業収入及び公益財団法人 日本財団からの助成金並びに資金運用の果実等による。

7 公益財団法人への移行

当振興会は、平成25年4月1日、旧法人の解散登記及び新法人の設立登記を行い、公益財団法人へ移行し新定款のもと初年度を迎えた。

II 理事会・評議員会等

1 理事会

(1) 第1回理事会 平成25年5月4日

開催方法 決議の省略の方法

決議事項 評議員会招集の件

出席等 提案書に対し、理事33名全員の書面による同意の意思表示及び監事3名全員から書面により異議がないこと
の意思表示を得た日をもって、理事会の議決があったものとみなされた。

(2) 第2回理事会 平成25年6月15日

開催場所 笹川記念会館4階第1、2会議室（東京都港区三田）

決議事項 役員を選任、規定類の制定等、平成24年度事業報告及び決算等。

報告事項 公益財団法人移行認定までの経緯、第1回評議員会の決議事項。

出席等 決議に必要な出席理事の数18名、出席34名、欠席1名。
監事出席3名。

(3) 第3回理事会 平成26年3月8日

開催場所 笹川記念会館4階第1、2会議室（東京都港区三田）

決議事項 平成25年度事業計画書及び収支予算書等の一部変更の承認、平成

26年度事業計画書及び収支予算書等の承認、

報告事項 第2回評議員会の決議事項。

出席等 決議に必要な出席理事の数18名、出席33名、欠席2名。

監事出席3名。

2 評議員会

(1) 第1回評議員会 平成25年6月8日

開催場所 笹川記念会館4階第1、2会議室（東京都港区三田）

決議事項 役員を選任、規定類の制定等、平成24年度事業報告及び決算等。

報告事項 公益財団法人移行認定までの経緯、第1回理事会及び第2回理事会の決議事項。

出席等 決議に必要な出席評議員の数43名、出席75名、欠席9名。

監事出席3名。

III 事業実施の概要

1 一般事業

(1) 組織化促進事業

全国7地区連絡協議会の運営がそれぞれの書記局において行われるとともに、財団において全国地区連絡協議会代表者会議を開催した。

イ. 各地区連絡協議会の運営

◎各地区連絡協議会執行部会議等の開催

◎地区内の財団公認各吟剣詩舞道総連盟の組織運営への協力

◎地区内会員の掌握と会員間諸問題の調整

◎平成25年度の全国吟詠コンクール、全国剣詩舞コンクール、全国剣詩舞群舞コンクール及び全国少壮吟詠家審査コンクール地区大会の主催並びに財団の全国決勝及び決選大会の運営主管

◎夏季吟道大学の地区内参加希望者の推薦並びに全国名流吟剣詩舞道大会及び全国吟剣詩舞道大会など財団行事への協力

ロ. 全国地区連絡協議会代表者会議の開催

◎平成25年度第1回地区連絡協議会代表者会議

平成25年度事業実施等に関する連絡会議

日時 平成25年6月15日（土）15:00～16:00

場所 笹川記念会館 4階第5会議室

出席者 各地区議長、幹事長、書記長など29名

◎平成25年度第2回地区連絡協議会代表者会議

平成26年度事業計画等に関する連絡会議

日 時 平成26年3月8日(土) 15:00～17:00

場 所 笹川記念会館 4階第5会議室

出席者 各地区議長、幹事長、書記長など29名

(2) 協力援助事業

優秀団体の行う行事に対する協力及び援助を行った。

イ. 傘下団体の行う行事に対する協力援助

団体の行う吟詠詩舞に関する行事に対し、後援名義の貸与等を行うなど協力した。

平成25年度後援大会等承認数103件(前年度75件)

ロ. 全国高等学校総合文化祭・吟詠剣詩舞部門に対する協力援助
第37回全国高等学校総合文化祭(しおかぜ総文祭ながさき2013)吟詠剣詩舞部門大会の協賛を行うとともに、同吟詠剣詩舞部門大会参加校生徒並びに引率者に対する旅費、宿泊費の援助を行った。

日 時 8月4日(日) 9:30～17:40

場 所 松浦市文化会館(長崎県松浦市)

出演者 95校、222名(昨年度、富山県116校、28

7名)

負担金 1,998,800円

ハ. 青少年育成推進のための協力援助

◎青少年大会開催に対する協力援助

青少年育成基金の運用事業の一環として、青少年対象の大会等を開催する財団公認都道府県吟詠剣詩舞道総連盟(略称「公認総連盟」と略称)に対し協力援助金の交付等を行った。

第24回岡山県吟詠剣詩舞青少年大会交付金 100,000円

第34回栃木県高等学校吟詠剣詩舞発表大会交付金

100,000円

第55回愛媛県青少年吟詠剣詩舞道大会交付金

100,000円

同大会のコンクール賞状及びトロフィー代 24,700円

計 324,700円

◎青少年育成推進のための協力援助

青少年育成基金の運用事業の一環として、奨励のための青少年の表彰に関し、本年度コンクールの幼年、少年、青年の部上位入賞者に副賞の奨励金(優勝30,000円、二位20,000円、三位10,000円)の授与を行った。

平成25年度全国吟詠コンクール決勝大会奨励金

180,000円
平成25年度全国剣詩舞コンクール決勝大会奨励金
360,000円
計 540,000円

ニ. 国民文化祭・全国吟詠剣詩舞道祭に対する協力援助

平成23年度の第26回国民文化祭・京都2011まで、当財団恒例の事業として続いて来た国民文化祭の主催事業「全国吟詠剣詩舞道祭」は、平成24年度の第27回国民文化祭・とくしま2012及び、平成25年度の第28回国民文化祭・やまなし2013の開催はお休みとなったが、来年、平成26年度の第29回国民文化祭・あきた2014では、秋田県男鹿市の主催事業「全国吟詠剣詩舞道祭」（平成26年10月26日〔日〕於、男鹿市民文化会館大ホール）として実施することが決まり、地元、公認秋田県吟剣詩舞道総連盟と共にその開催に向けて準備を進めた。

(3) 研究会開催事業

吟剣詩舞に関する専門委員会の開催を行った。

第28回吟詠専門委員会

日時 平成25年8月9日（金）14:00～15:50

場所 成田東武ホテルエアポート2階会議室「竹の間」

出席者 吟詠専門委員9名及び常任理事会役員12名

ゲスト 弓場 徹、阿部真理子夫妻

議題 YUBAメソッド詩吟用発声則本I〈CD付〉の紹介と説明に関する件ほか

第38回剣詩舞専門委員会

日時 平成25年9月14日（土）15:30～17:00

場所 笹川記念会館4階第5会議室

出席者 専門委員11名ほか、オブザーバー3名

議題 平成25年度剣詩舞コンクール決勝大会の開催に関する件

平成25年度剣詩舞群舞コンクール開催に関する件

第45回全国吟剣詩舞道大会（平成26年2月23日〔日〕於、福島県郡山市「郡山ユラック熱海・多目的ホール」）の開催に関する件ほか

(4) 功労者表彰事業

イ. 平成25年度吟剣詩舞大賞受賞者の選考並びに表彰を行った。

平成25年度（第27回）吟剣詩舞大賞選考委員会を開催（1

1月9日)して、本年度の吟剣詩舞大賞「吟剣詩舞功労賞」に次の5氏を選考した。

また、受賞者を第45回全国吟剣詩舞道大会の式典において表彰した。

吟剣詩舞功労賞	前島昊龍	吟詠家・東京都
〃	松岡蒨洲	吟詠家・東京都
〃	野中秀鳳	吟詠家・高知県
〃	佐々木嶺城	吟詠家・広島県
〃	多田鶯霊	吟詠家・大分県

2 普及事業

(1) 海外普及事業

吟剣詩舞の海外普及状況調査並びに国際親善交流事業を協賛した。

(2) 広報活動事業

吟剣詩舞の周知宣伝のための広報活動を行った。

イ. インターネットの吟剣詩舞ホームページの運用推進を図った。

ロ. 吟剣詩舞の広報に関する団体等との協働推進を図った。

ハ. 新聞、雑誌などへの広報活動並びに掲載誌等の購入を行った。

ニ. 吟剣詩舞普及用パンフレットの作成頒布の準備を行った。

3 振興事業

(1) 発表会開催事業

吟剣詩舞普及のための発表会を開催した。

イ. 東日本大震災被災地復興支援並びに高松宮妃癌研究基金奉賛・第45回全国吟剣詩舞道大会の開催

日 時 平成26年2月23日(日曜日)

場 所 郡山ユラックス熱海・多目的ホール(福島県郡山市)

来 場 者 2,297名

参加団体数 37団体(合吟コンクール出場団体)

後 援 文化庁、福島県、福島県教育委員会、郡山

市、郡山市教育委員会、NHK
奉 賛 等 高松宮妃癌研究基金

ロ. 秋篠宮妃総裁恩賜財団母子愛育会奉賛・平成25年度全国名流吟剣詩舞道大会の開催

日 時 平成25年5月5日（日曜日・こどもの日）
場 所 宇都宮市文化会館・大ホール（栃木県宇都宮市）

来 場 者 1,768名

参加者数 332名（出演者数）

後 援 文化庁、栃木県、栃木県教育委員会、宇都宮市、宇都宮市教育委員会、NHK、栃木県文化協会、宇都宮市文化協会、下野新聞社

奉 賛 等 恩賜財団母子愛育会

（2） 吟詠教本発行事業

吟詠統一教本（既刊図書）を作成配布した。（ ）内は前年度実績

- ・吟剣詩舞道漢詩集（絶句編）解説書 220部（343部）
- ・吟剣詩舞道漢詩集（律詩・古詩編）解説書 130部（109部）
- ・吟剣詩舞道漢詩集（続絶句編）解説書 202部（239部）
- ・吟剣詩舞道アクセント付漢詩集（絶句編） 869部（886部）
- ・吟剣詩舞道アクセント付漢詩集（律詩・古詩編）506部（333部）
- ・吟剣詩舞道アクセント付漢詩集（続絶句編） 757部（697部）
- ・幼少年向けテキスト『はじめての吟詠』 460部（2,926部）

（3） 会報発行事業

吟剣詩舞に関する広報並びに教養誌として月刊「吟剣詩舞」を発行した。

平成26年3月31日現在の有料発行部数は、9,098部（昨年度末9,548部）である。

（4） 教材頒布事業

吟剣詩舞道吟詠集（テープ及びCD）の作成配布及び吟剣詩舞道伴奏集（テープ及びCD）の監修指定など、吟剣詩舞に関する教材の製作頒布並びに既刊教材の頒布促進を行った。

教材としての吟詠集の製作頒布数（ ）内は前年度実績

・平成26年度吟剣詩舞道吟詠集テープ 1,315本
(1,638本)

・平成26年度吟剣詩舞道吟詠集CD 4,296本
(5,094本)

教材としての伴奏集テープ及びCDの製作監修並びに振興会指

定数

- ・吟剣詩舞道伴奏集テープの指定数 88本(106本)
- ・吟剣詩舞道伴奏集CDの指定数 1,155本(1,068本)
- ・続・吟剣詩舞道伴奏集テープの指定数 63本(69本)
- ・続・吟剣詩舞道伴奏集CDの指定数 715本(813本)

4 助成事業（日本財団助成事業）

(1) 事業名 「吟剣詩舞普及振興のためのコンクールの開催」

2013年度日本財団助成事業「吟剣詩舞普及振興のためのコンクールの開催」を実施した。

事業費総額及び助成金等

事業費総額	18,549,603円
助成金	13,030,000円
助成事業収入	5,519,603円（自己負担）

事業の実施内容

1. コンクールの開催

(1) 開催の時期

- ① 平成25年度全国吟詠コンクール
(決勝大会 平成25年9月16日)
- ② 平成25年度全国剣詩舞コンクール
(決勝大会 平成25年9月15日)
- ③ 平成25年度全国剣詩舞群舞コンクール

(決勝大会 平成26年2月9日)

④ 第42回全国少壮吟詠家審査コンクール

(決選大会 平成26年3月9日)

(2) 内 容

各コンクールは、年齢により吟詠コンクール及び剣詩舞コンクール共に6部門に分けて実施し、剣詩舞群舞コンクールは剣舞3名、詩舞5名のチームで行い日頃の吟剣詩舞道精進の成果を競う場とし、優れた吟剣詩舞道者の発掘を行った。少壮コンクールは、35歳から55歳までの吟詠指導者の研鑽の場とし、優れた吟詠家を選出する公の機関とすることができた。

(3) 場 所

- | | | |
|------------------|------|--------|
| ① 全国吟詠コンクール | 東京三田 | 笹川記念会館 |
| ② 全国剣詩舞コンクール | | 〃 |
| ③ 全国剣詩舞群舞コンクール | | 〃 |
| ④ 全国少壮吟詠家審査コンクール | | 〃 |

(4) 参加者

- ① 全国吟詠コンクール(参加者約18,000人)
- ② 全国剣詩舞コンクール(参加者約8,500人)
- ③ 全国剣詩舞群舞コンクール(参加者約5,500人)
- ④ 全国少壮吟詠家審査コンクール(参加者約5,500人)

2. 事業目標の達成状況

各コンクールは、それぞれボランティアによる大会役員に支えられ県単位の第一次予選、全国7地区単位の第二次予選及び全国大会として決勝、決選大会を行ったもので、近年の少子化等に伴い会員の減少が特に顕著にあらわれているが、コンクールを通じて幼少年の育成に力をいれ、確実に出場者を確保するとともに、これを更に推し進めることができた。また、少壮コンクールにおいては、少壮吟士としての称号を付与するための厳しい審査基準及び年齢制限を設け、吟詠指導者の公の選出機関としての役目を引き続き果たすことができた。

(2) 事業名 「吟剣詩舞普及振興のための講習会の開催」

2013年度日本財団助成事業「吟剣詩舞普及振興のための講習会の開催」を実施した。

事業費総額及び助成金等

事業費総額	7,414,700円
助成金	5,070,000円
助成事業収入	2,344,700円(自己負担)

事業の実施内容

1. 講習会の開催

(1) 開催時期

① 夏季吟道大学

……平成25年7月20日(土)～21日(日)

② 少壮吟士夏季吟詠特別研修会(以下「少壮研修会」とい

う)

……平成25年8月10日(土)～11日(日)

(2) 内 容

夏季吟道大学は全国7地区連絡協議会(北海道・東日本・中部・近畿・中国・四国・九州)から選ばれた指導者を対象に、少壮研修会は少壮吟士称号取得者を対象に開催した研修会で、吟剣詩舞の幹部指導者の養成機関として開催することができた。

(3) 場 所

① 夏季吟道大学………成田東武ホテルエアポート

② 少壮研修会………成田東武ホテルエアポート

(4) 参 加 者

① 夏季吟道大学………136名

② 少壮研修会………55名

2. 事業目標の達成状況

全国から選ばれた吟詠の指導者を受講対象者とした夏季吟道大学、少壮吟士称号保持者の研修を目的とした少壮研修会を開催し、吟剣詩舞の現状の把握と一層の芸術的向上を図るとともに、普及振興のための研究討議を行い、全国的レベルでの向上と吟詠の芸術的向上を担う少壮吟士の芸術的レベルア

ップを図ることができた。

(3) 事業名「吟剣詩舞普及振興のための全国吟剣詩舞道大会の開催準備」

(事業期間 2013/6/1 ~ 2014/9/30)

2013年度日本財団助成事業「吟剣詩舞普及振興のための全国吟剣詩舞道大会の開催準備」を実施した。(事業内容の一部変更により事業時期を翌年度へ延長した。)

事業費総額及び助成金

事業費総額	22,500,000円
助成金	22,500,000円

事業の実施内容

1. 企画委員会の開催

(1) 日時 : 2013年6月~2014年9月(2回)

(2) 場所 : 笹川記念会館

(3) 参加人数 : 30名(各流宗家、外部専門委員等)

(4) 内容

a. プログラムの策定と決定

2. 事業目標の達成状況

全国吟剣詩舞道大会の開催準備を行った。愛好者が目標とする全国大会にするため、各都道府県支部のボランティアとの連携を強化し、事務局では専門の人員を配置することにより円滑な事業運営ができるよう実施体制を強化した。また、幼少年プログラムを充実させることにより、継承者育成を行う体制を整えることができた。

IV 登記事項、届け出・報告事項

1 登記事項

平成25年4月1日

・特例民法法人の解散及び公益財団法人の設立

平成25年8月6日

・評議員変更

平成25年8月6日

・理事、監事変更

2 届出・報告事項

平成25年4月16日

・移行登記完了届出書（内閣府・文部科学省）

「国と特に密接な関係がある」公益法人への該当性について報告
（総務省）

・役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の届出（内閣府）

平成25年8月30日

・評議員変更届出（内閣府）

平成25年8月30日

・理事、監事変更届出（内閣府）

平成26年3月31日

・事業計画書等の届出（内閣府）

参 考

イ. 全国各地区連絡協議会代表会議

北海道地区 議長 松岡 吟琇、幹事長 中山 賢風、書記長
畑中 景心、

東日本地区 議長 菅原 道雄、幹事長 吉見 芳蘭、書記長
松岡 萌洲、

中部地区 議長 武田 禧洲、幹事長 杉浦 容楓、書記長
日置 彩峰、

近畿地区 議長 宮田 実龍、幹事長 増田 鵬泉、書記長
佐々木一景、

中国地区 議長 佐々木嶺城、幹事長 井上 游洲、書記長
藤岡 鶴伯、

四国地区 議長 野中 秀鳳、幹事長 前田 霊泉、書記長
西條 典綜、

九州地区 議長 益中 鵬山、幹事長 八代 輝靈、書記長
田中 岳藤、

ロ. 吟剣詩舞大賞選考委員会
選考委員会委員長 吉見芳蘭（振興会副会長）
外部委員 小野清子（〔公財〕笹川スポーツ財団理事長・元体操
選手〔オリンピック日本代表〕）ほか
委員総数 15名

ハ. 吟詠専門委員会
吟詠専門委員会委員長 松岡萌洲（振興会常任理事）ほか
委員総数 9名

ニ. 剣詩舞専門委員会
剣詩舞専門委員会委員長 多田正満（振興会副会長）ほか
委員総数 9名

（注） 以上、いずれも平成26年3月31日現在 敬称略